

昨年度、私の娘が昭島市小学生国内交流事業に参加し、岩泉の子供たちとの交流、そして岩泉町へ訪問してきました。岩泉町の訪問から帰ってきた娘がとても楽しそうに思い出話をするので、私も岩泉町に興味を持ち今回参加させていただきました。

初日は龍泉洞の見学とツリークライミングを行いました。龍泉洞の水はとてもきれいで感動しました。また、ツリークライミングは大木の枝にかけたロープを足の力だけで登っていくという遊びでとても楽しかったです。

二日目の午前「森の日事業」に参加し森の下刈を行いました。豊かな海は森がつくるということで漁業協同組合の方々も参加されているのがとても印象的でした。長い鎌を借りての下刈は思った以上に重労働でしたが、このような地道な作業が豊かな自然をつくるために必要なことであるということを実感しました。午後は宮古市田老地区そして岩泉町小本地区の東日本大震災後の復旧状況視察を

行いました。津波の爪あとは未だ残ってはいましたが震災から5年が経過し復旧が進んでいることを確認できました。また、視察に同行してくれた町役場の方がバスの移動中などに岩泉町の現況を話してくれたことによって、生活するという視点で岩泉町を見ることができたのは大変良かったです。

今回の交流事業参加を通して、私としては普段出会う機会がない方々との交流ができたこともとても嬉しかったです。

交流事業の1週間後に行われたくじら祭りの時には岩泉町のブースに顔を出し一緒に交流事業に参加された昭島市の方々そして岩泉町の方々にお会いすることもできました。

岩泉町そして同じ昭島市に住んでいる方々との交流が生まれたことによって昭島市をさらに身近に感じることができました。

今回参加させていただいた「環境連携交流事業」はとても素晴らしい事業だと思いました。今後とも是非続けて欲しいと思います。



